

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」

たまちゃん通信

令和元年9月発行 115-2

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

病院の医療用ゴミの焼却炉

『北村義雄ヤップ通信』第10回

ヤップ州立病院の医療用ゴミを焼却する焼却炉がこのたび完成しました。焼却炉は今回で3回目となる更新（焼却炉の寿命は約8年程度）ですが、今回日本の資金援助を得ることが出来ました。私が赴任して間もない頃職場の方から現在の焼却炉は老朽化のため十分な温度で医療



用ゴミを焼却できないので日本の援助を受けられないか、と相談がありました。本来業務ではありませんでしたがミクロネシアの日本大使館の担当官にご相談しましたところ「草の根人間の安全保障プロジェクト」から1千万円以下であれば助成できる制度があるということで、これを利用することができま



した。今回は煙突の取替も行いました。16年ほど使っている煙突の先端部分が、数年前に腐食のため折れてしまっているためです。この取替費用はアメリカの別の団体からいただきました。工事の方法は大型クレーン車を使い屋上から突き出ている煙突を引き抜き撤去しました。煙突は長いので4mごとの接続の部

分で外して撤去しました。このほかにも煙突を貫通する部分の壁の撤去や仮設工事などで結構時間を要しました。次に新設の煙突です。これもクレーン車で屋上から細かく区切られた煙突を順次降ろしながら接続するという比較的単純な作業を考えましたが、何とクレーン車が故障で当分の間使用できないとの連絡が入りました。一同唖然とした



のですが2日後に人力とチェンブロックと言う道具を用い、煙突を組み立てるとの申し出が業者からありました。仮の足場を屋上に設けそこから4mごとのパーツになった煙突を降ろして組み立てるとともに、煙突は屋根より高くしなければならぬため、上への積み上げもありました。組み立てを急いだ理由はアメリカの技術者が1週間の予定で来島し、この間に煙突の組み立ての技術支援・配線・配管・試運転調整をすることになっていたためです。このようなこともありましたが、新しい焼却炉と煙突が完成したことにより、ポンペイ州にある日本の杉本臨時大使にお越しいただき（写真上段右）日本国からヤップ州への引渡式を9月に行いました。（下段左・筆者）

（日本のお手玉の会副会長）